

2021.3.4 (木)  
第24回例会  
(通算 3618 回)

## 2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博  
副会長 土橋 賢一  
幹事 荒井 剛  
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2020-2021 年度  
国際ロータリーテーマ



ロータリーは機会の扉を開く  
2020-2021 年度  
RI 会長 ホルガー・クナーク  
第 2500 地区ガバナー  
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	会員卓話「三都物語 経済圏から見る釧路・帯広・函館」(担当：プログラム委員会)
次週例会	「国際ロータリーの現状について」～キーワードは DEI と SRF ～ (担当：国際奉仕委員会)

- ロータリーソング：国歌、「奉仕の理想」 ■ソングリーダー：菅原 顯史君
- 会員数 97 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

#### 土橋 賢一副会長

皆さん、こんにちは。まさか、こんな日が来て、この場でこんな話をしなければならないとは思っていませんでした。



私、入会して 10 年が過ぎたのですが、その間に五明さんは毎年、何かしら役を受けられ、常にロータリーの中核にいた方でした。昨年の 12 月のクリスマス家族会では親睦の副委員長としてオークションの司会を面白おかしくやっておられた姿が、私が見た五明さんの最後の姿だったと思います。今思えば、その時すでに余命 3 カ月を切っていたのだと思うと、驚きを禁じえません。もし、この病気がなければ、まだまだ 10 年 20 年とお付き合いができていたかもしれないと思うと悲しくも残念でなりません。人生、一期一会、その時々を大事にしなくてはいけないと改めて思われました。

五明さんのこれまでの 30 年以上の長きにわたるロータリーでのご活躍に感謝申し上げます、ご冥福をお祈りいたします。

また、舟木会長の近況なのですが、退院されて自

宅療養中でございます。昨日、お会いして来ましたが、検査の結果は「ステージ 2 B」ということで抗がん剤治療を 1 年ほど続けなければいけないということでした。ちょうど食事中だったようで、なかなか食べ物を受け付けられないようで苦しそうな様子でした。本人は「すぐにでも復帰したい」とは言っておりますが、その様子から察するに、今すぐにとはいかないように見えましたし、少しゆっくり構えて無理をさせられないと思っております。皆さんにもご理解・ご協力をいただきたいと存じます。

本日、久しぶりに身内だけの例会です。五明さんとの思い出を思い浮かべながら、日銀の熊谷支店長のお話を聞かせていただきましょう。

熊谷君、本日、よろしくお祈りいたします。以上です。

### 幹事報告 荒井 剛幹事

幹事報告は 3 点ほどございます。1 点目は 3 月のロータリーレートで、1 ドル 106 円となっております。

2 点目です。先日、2 月に P E T S が Zoom で開催されました。次年度からの杉村会長エレクト、市村幹事予定者に参加していただきました。

3 点目です。この後、例会終了後に第 8 回の理事会が予定されておりますので対象者の方は 2 階ローズホー

ルにお越しいただければと思います。以上です。  
、順次例会のやり方についても変化させていくつもり  
でありますので、皆様のご理解ご協力を重ねて願  
いいたしたいと思います。  
以上です。

## 黙 禱

司会 例会に先立ちまして、2月27日にご逝去され  
ました五明正吉君に黙禱をささげた  
いと思います。皆さまご起立ください。  
(黙禱)  
お直りください。ご着席ください。

### ■ 本日のプログラム ■

『三都物語 経済圏から見る釧路・帯広・函館』

#### 日本銀行釧路支店 熊谷 任明支店長



皆さん、こんにち  
は。どうぞよろしく  
お願いいたします。  
昨年、4月に続きま  
して皆さまの前でお  
話をする機会を頂戴  
し、誠にありがとう  
ございます。

滝越さんから「釧路・帯広・函館の3市  
の比較分析をしてほしい」とご依頼を頂戴したのは昨  
年のかなり早い時期でありました。私自身も日本銀行  
釧路支店管内の主要都市である釧路市と帯広市を掘り  
下げて分析したいという気持ちは前々から持っており  
ましたので、大変ありがたい機会を頂戴したと思っ  
ています。支店の若手職員も意気に感じて分析を掘り下  
げ、このスライドを作成してくれました。昨年後半に  
日本製紙釧路工場の撤退表明や釧路市と帯広市の人口  
逆転が報じられたことも、この分析に熱が入った理由  
です。

それでは、1ページの目次をご覧ください。本日の大  
まかな流れをお話します。釧路に限らず、地方のほと  
んどにとっては人口減少問題が大きな課題となってい  
ます。後ほど、ご説明しますが『人口動態』は『自然  
動態』と『社会動態』に分解できます。

自然動態は出生率の引き上げで徐々に引き上げるこ  
とはできますが、30年程度の時間軸で見れば動かしが  
たい要因と言えます。しかし、社会動態は人の意思を  
伴う動きですのでがんばり次第で結果を変えることが  
できるとも言えます。人はより良い職場や生活環境を  
求めて移動することがありますので、質の良い雇用の  
創出と生活環境改善が人口の社会減の対策になりま  
す。質の良い雇用はその地域の産業構造に大きく依存  
します。本日はまず2. で、三都の産業構造を第一次  
産業、第二次産業の製造業、そして第三次産業のひと

つである観光業に焦点を当ててご説明いたします。そ  
して3. で、経済状態の結果ともいえる釧路・帯広・  
函館の三都の人口面の動きについて少し詳しく分析し  
ます。先ほど人口の社会動態を左右するひとつの要因  
として生活環境をあげましたが、その大きな構成要素  
である子育て環境に焦点を当てて、いくつかの指標を  
三都で比較したいと思います。以下、指標は主に釧路  
市・帯広市・函館市のデータを参照しますが、それぞ  
れの市が属している総合振興局のデータを用いること  
もありますのでご留意ください。

それでは、各論に入る前に釧路・帯広・函館の3市の  
全体観をご説明いたします。

3ページをご覧ください。3市の所在地、人口と該当  
する道の総合振興局はこの地図のとおりです。函館市  
の人口は25万人です。昨年12月に帯広市の人口が  
釧路を抜き、1月に釧路市が追いついたのはご案内の  
とおりです。

次のページをご覧ください。北海道の域内総生産は全  
国のGDPの3.5%ですけれども、振興局別の域内総  
生産を見ますと、石狩のシェアが圧倒的に高く、今日、  
関係する総合振興局別に見ますと、十勝、渡島、多少  
差がついて釧路の順番となっております。若年女性人  
口の減少率が5割を超える自治体が『消滅可能性都市』  
と言われておりますけれども、3市の中では釧路と函館  
が該当し、人口の減少のスピードも非常に早くなって  
います。一方、帯広市は1989年の人口を100とす  
ると2020年は99.9と微減で、人口減少のスピード  
が非常に緩やかになっております。

このスライドは日銀釧路支店がカバーしている根室・  
釧路・十勝の3振興局内のすべての市町村の一人当た  
りの所得水準を調べるために当店が作成した資料を  
ベースに、今回の函館市を加えて比較しました。所得  
としては捕捉しやすい課税対象所得を用いております。

最初にこのスライドを部下から見せられた時は、私自  
身ショックを受けました。ご覧のように釧路市周辺の  
自治体が下位を占めております。特徴としては士幌・  
更別・別海の酪農が盛んな町村が上位を占め、都市部  
の市町村が下位を占めております。留意点としては、  
第一産業は家族従業者が納税義務者にカウントされな  
い家族経営が多いものですから農村部の町村所得が過  
大に計上される、というクセがあるところをご留意く  
ださい。

とは言え、今回の帯広・函館・釧路の3市はいずれも  
都市ですので、この中の順位はおおむね所得実績を反  
映していると考えられます。3市で比較すると帯広、  
それから少し下がって函館、釧路、という順番です。  
帯広が20万円ほどの差をこの二つの市との間でつけ  
ています。道東では根室もありますが、根室は帯広と  
函館の間にあります。帯広市との差は7万円ほどし

ありません。

こちらは道内の生活保護率の状況です。ご存じかもしれませんが、釧路市は道内でもっとも生活保護率が高く、函館市が2位となっています。帯広市の生活保護率は3.02%ということで釧路とは2%弱の差があります。道内分布を見ますと保護率が高い地域は赤・それから赤斜線で、ここは旧産炭地域のほか、水産業の不振が続く日本海と太平洋沿岸地域です。根室市はもちろん水産業が不振ですが、生活保護率はさほど高くありません。一般に高齢者・傷病者の生活保護率は高くなりますが、そういった方々が基幹病院や介護施設が多い釧路市に集中するとすれば、それが釧路市の生活保護率を高めることにつながっている可能性があるかもしれません。

この10年ほどの推移を見ますと、このグラフの上が釧路ですが緩やかな低下傾向にあると思います。この緑が二番目の函館ですが、おおむね横ばいのように見受けられます。

なお、釧路市の生活保護の自立支援の取り組みについては、過去に釧路公立大学の学長を務められ、現在、北海道大学公共政策大学院客員教授や北海道観光振興機構会長を務めていらっしゃる小磯修二氏の著書、『地方の論理』に詳しく書かれていますのでご紹介します。この本です。

続きまして、3市の財政状況を比較しました。予算規模はおおむね人口規模に沿ったものと言えます。この二つは財政健全化指標です。見ますと函館市の健全度合いが他の二つを引き離していることが分かります。続きまして、3市ないし3総合振興局の域内総生産、それから事業者数など産業別に概観いたします。3市、総合振興局の産業構成比であります。十勝では一次産業、渡島では三次産業のウエイトが高いのが特徴です。他と比較しますと釧路はいずれの産業も突出していません。釧路は漁業のイメージが強いですが、ご覧いただくと農業の方が大きいことが分かります。

続きまして、事業所数・就業人口数を見てみました。函館市がいずれも最大です。もちろん、3市で人口が最も多いことが一因ですけれども、一般に事業所数が多い第三次産業のウエイトが高いことも影響しております。帯広市の人口は釧路市とほぼ同じですが、就業人口を見ますと帯広の方が釧路より12%多くなっています。

続きまして、全国対比でウエイトが高い第一次産業の動向をみます。農業と漁業、対照的な動きであります。農業につきましては函館経済に占めるウエイトはそこまで高くありませんので道東の状況のみご説明します。

まず、好調な農業です。畑作が相応の規模を占める十勝24農協の取扱高を見ますと、2020年は前年に次ぐ史上2位の規模でした。釧路は主に気候の関係で畑

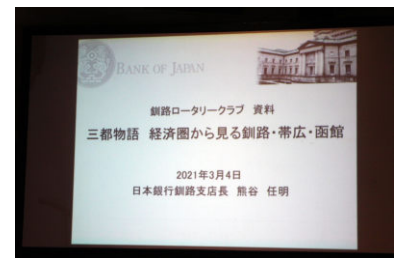
作が少なく、酪農・肉牛のウエイトが圧倒的に高いです。ただ、こちらの規模は順調に拡大しています。畜産だけを見ますと、十勝と釧路の地域差はさほど無くなってきております。

続きまして、農家の所得環境ですが、酪農は生乳の量が順調に増加する中、生乳価格が高水準で安定していますので、その掛け算である酪農家の売り上げが増加傾向にあります。このため、道東の農家の農作物販売金額の規模は全国・全道を圧倒しています。なんと、農作物販売金額が3,000万円以上、この赤で囲った箇所が全体の半分以上を占めております。全国や全道の数字と比較していただくと、その大きさがわかるかと思えます。私自身もこの統計を見た時には驚いた次第です。

続きまして、不漁で厳しい水産業の動向です。道東と渡島総合振興局の状況を比較します。ご覧のように道東の漁獲量と漁獲高は減少傾向にあります。主力のサンマ、サケの不漁が影を落としています。一方でイワシは増加していますが主として餌料向けで単価が安いいため、金額ベースの漁獲高では特に低調となっております。続きまして渡島・道南は、さらに厳しいと見受けられます。長期的なスルメイカの落ち込みに加えて、近年、噴火湾のホタテの大量へい死により、漁獲量・漁獲高ともに大きく落ち込んでおります。

続きまして、3市の製造業の特徴的な動きを見ます。地域の製造業の勢いは数が少なくても大企業の動向に左右されることが多いのが一般的な特徴です。こちらは製造品出荷額の構成比を3市で見せております。「北海道の強みは食と観光」とよく言われますけれども、3市ともに食料品等製造業の存在感が高いです。吹き出しの企業名をご覧いただくと実感できるかと思えます。釧路市では紙パの割合も三分の一と高いです。もちろん、大手の日本製紙と王子マテリアの工場があるからですけれども、ご案内のとおり日本製紙釧路工場は「本年8月に生産を停止する」と公表しております。この工場が1920年、101年前に創業したのは原料となる木材チップ、石炭、水資源、硫黄がこちらで豊富に確保できたからです。ただ、近年は主に関東から調達する古紙・古新聞のウエイトが高まり、本州の工場と比べて不利な状況が続いておりました。このように「立地条件の強み」は、時代の変遷に連れて変わりうるということが分かります。

帯広市のウエイトが最も高いのは一般機械、電気機械なのですが、自動車に搭載するリレーという部品を生産しているパナソニックスイッチングテクノロジーの工場があるためです。リレーは加速する脱炭素化で成





長が期待できるEV車にも搭載されますので、今後の成長が期待されます。

次のページは、事業所数・従業者数で見ますと、食料品等製造業のウエイトが3市とも高くなっています。特に函館の従業員数は6割が食料品等製造業になっております。

続きまして、産業別・従業者の一人当たりの現金給付を見ますと釧路がトップです。業種別に見ますと釧路は大手企業の紙パ、石油・化学、大塚製薬工場ですが全体をけん引している構図になっておりまして、こういった従業者の購買力が地域のサービス・消費を支えていることが見てとれます。

こちらは釧路、帯広、函館の3市の食料品製造業・付加価値率の観点から分析します。付加価値率というのは、この付加価値額を製造品出荷額で割ったものです。上から帯広、函館、釧路と10%ずつ差がついています。この棒は27%、これは道平均であります。釧路の食料品等製造業は大量の海産物を中間原料に加工し、それを大手企業に販売するスタイルが主流でしたので、どうしても付加価値率が低くなる傾向があるように思います。先ほどお話したように、漁獲量は趨勢的に低下傾向にありますので、付加価値率を高める取り組みが一層求められると思います。

函館も中間加工を行っていますけれども、より付加価値率が高い珍味、塩辛など高次加工品も製造しておりますので、道平均を若干ですが上回っております。帯広はこの中で圧倒的に高いですけれども、先ほど代表的企業を上げましたカルビーポテト、六花亭、こういった企業名をご覧くださいとイメージできるのかなと思います。

こちらは従業者一人当たりの付加価値額を比較しています。見ますと、現金給与と同様に大手の紙パ施設や石油化学の貢献が大きいことで釧路市がトップです。ただ、食料品製造業だけを繰り出しますと3位となってしまいます。このことから最もウエイトの高い、食料品等製造業の付加価値率の引き上げが釧路の課題ということが見てとれます。

続きまして、第三次産業の中で観光関連にスポットを当てたいと思います。足許、新型コロナウイルス感染症の影響で観光は最も厳しい状況ですけれども、ワクチン接種が拡大して集団免疫が獲得されれば、地域全体が歓迎すればですが旅行ができなくてうずうずしている観光客は押し寄せてくると思います。

人口の自然減で地域住民の需要が趨勢的に減少することも確実ですので、人の頭数に左右される地域のサービス業にとりましては、この観光振興が重要な対策になります。これはアフター・コロナでも変わらないと思います。

こちらは釧路・帯広・函館、3市の観光客のデータです。意外かもしれませんが釧路の観光入込客数を見ま

すと、函館とほぼ一緒です。函館は五稜郭とか夜景といった有数の観光都市ですが、こちらと拮抗していません。ただ、宿泊では、かなり水はあけられております。その理由としては、釧路市のデータを見ますと「弟子屈などに分散する」と書かれております。そうはいつでも、市内中心部の観光スポットが函館よりも少なく、泊りのインセンティブが少なくなってしまうことも影響しているのかなと思います。

続きまして、港湾の比較です。釧路港、函館港、十勝港を比較しています。帯広は港がありませんので十勝港で代替しました。それから参考までに道内で圧倒的なキャパシティを誇る港の苫小牧のデータも載せています。

観光の観点からクルーズ船の寄港実績の推移をご覧くださいただければと思います。函館が18年の27隻から19年に47隻と劇的に伸びています。この要因はJR函館駅付近にクルーズ船専用の新岸壁が整備されたことがその理由です。こちらはその絵です。この写真をご覧くださいますと、クルーズ船のアクセスが劇的に改善して地元飲食店、小売店に相当な需要が創出されたであろうことが想像されます。前のページのデータを見ますと外国航路の乗降人員数ですが、函館の18年は11万人です。

こちらは釧路のクルーズ船岸壁の写真です。残念ながら市内中心部からかなり距離があるのが難点であります。釧路港の19年の外国航路の乗降人員数は25,000人ほどです。

釧路公立大学が2019年3月にクルーズ船についての研究報告書を出しております。18年には釧路港に18隻のクルーズ船が来ましたが、この「経済効果が3.2億円」と報道されたのをご記憶の方もいらっしゃると思います。私はそれ以上に興味深いと思った点は、「外国人は自然観光よりも、買い物や市街観光に興味を持っている」というアンケート結果でありました。この報告書には、クルーズ船来航が多い九州・四国では「クルーズ船の来航時に合わせて臨時に大型ドラックストアを開設し、地元商店街でマルシェの開設やイベントを実施し、市街地の観光名所を回遊させる取り組みが行われている」という記述がありました。クルーズ船が復活した時は、こういった先進地域の好事例も参考になるのではないかと報告書を読んで感じた次第です。

こちらは、釧路観光にサポーターなスライドです。観光の観点から、釧路の強みは釧路湿原、阿寒・摩周国立公園を有する日本でも有数の大自然です。アドベンチャーツーリズムの経済効果をここで見ていますが、こちらはクルーズ船旅行客の25倍です。釧路市が『国立公園満喫プロジェクト』に注力しているのも頷けるところです。

ただ、本日ここにいらっしゃる方々の多くは、市内中

心部で営業されておりますので市内観光スポットを充実させ、ナイトイベントを充実させることによって、いずれ復活するだろうクルーズ船乗降客を含めたインバウンド客の取り組みに注力することも必要になってくるかなと思います。

続きまして、人口面の動きをご覧ください。釧路・函館・帯広、それから参考までに札幌市の人口増減を自然動態と社会動態で分けてみたものです。上半分は社会動態が大きなマイナスの釧路と函館のグラフで、下半分がこの社会動態がゼロ近傍ないし正の数の帯広・札幌のグラフです。グラフのスケールが違っていることにご留意ください。上の釧路・函館ですが、ともに社会減が相応の規模ですが、全体の占める割合からいきますと釧路市の社会減のウエイトが高くなっています。帯広については社会減が極めて少ない状態でありまして、人口減はもっぱら自然減で説明できます。自然動態は短期的には変化しませんが、社会動態は各種政策で変えうる要素だと思います。

続きまして、合計特殊出生率の比較ですが、函館と帯広は2000年ぐらいをボトムに上昇傾向にあると思います。釧路市はちょっと上がりましたがまた下がっているということで、伸び悩んでいるように見受けられます。

こちらが人口流出経路をチャート化したスライドで、私の部下が工夫して作ってくれたものです。このスライドの赤や青の実数は2020年の都市間の人口流出入の人数です。その下のカッコは5年前、2015年の時の人口流出入の数値の差です。赤は流出が増えており、逆に青は5年前より減っているという意味であります。こちらは道内の全体像を把握するために今回分析対象外の苫小牧と室蘭も加えております。大きな構図としてはご想像のとおりかと思えますけども、道内各地から札幌に人が集まって、札幌と他の所も含めて道外に流出するという構図です。ただ、道外への人口流出状況をご覧くださいますと、全部青で2015年の時よりも減っているわけです。これはおそらく新型コロナの影響で首都圏が嫌気されていることなのかもしれません。もう少し細かく見ますと、札幌以外の都市、帯広・函館・苫小牧のグループと釧路・室蘭のグループの2層構造になっていることがうかがえます。それから函館・苫小牧も含めて札幌への人口流出が5年前と比べて増えています。帯広だけが青になっている、すなわち札幌への人口流出も減っているのが帯広の大きな特徴です。

もうひとつ、釧路市からの人数流出先が一番多いのはもちろん札幌で、その次が道外なのですが、帯広にもネットで127人の流出となっています。出る人もいれば入ってくる人もいて、その差し引きがネットなのですが、かなりの人数が流出していて、これは両者の間で人口が移動しますので、これが両市の人口逆転を

加速したという構図が一目瞭然です。

長年住み慣れた生活拠点を变えることは転勤などがない限り難しいものだと思いますが、より条件の良い職場とか生活環境を求めて移動することは考えられます。このため、人口減少対策としては、質の高い雇用の創出と生活環境の改善が大きな柱になります。

こちらは各市の人口減少対策をホームページから転記したものです。市の記載順どおりに並べているだけです。必ずしも政策の優先順位に沿ったものではないかもしれませんが、市の意図がある程度透けて見えるかもしれません。その観点から眺めると、3市とも産業育成とか雇用創出が目立ちますが、釧路、函館は『関係人口』『交流人口』に力を入れている印象があります。どこも、子育て環境の充実を挙げていますが、釧路はやや下の方にあるのが特徴かなと思います。次のページをご覧ください。子育てという環境から子供の医療費補助、保育施設の整備状況、教育関係に着目してみました。まず医療費補助のデータです。3市で比較しますと、子育てに一番優しいのは函館です。釧路と帯広はほぼ同じです。函館の一番高い理由はよく分かりませんが、先ほど人口減少のスピードが早い、それから合計特殊出生率が絶対水準で一番低かったのは函館ですが、そういうことが理由なのかもしれません。

こちら参考までに釧路市の近隣の白糠・鶴居の町村を見てみました。ご覧いただきますように18歳まで所得制限なしで、自己負担一切免除と極めて手厚い支援を行っております。その効果かどうか分かりませんが、鶴居村の人口はほぼ横ばいで推移しています。次のページは保育所の整備状況です。上の方は人口当たりの保育園・幼稚園の数で、数が多いのはどちらも釧路となっています。人口対比の定員で見ますと、釧路は3つの中では一番下となっています。あと、事業所内保育所が統計上あるのは帯広市のみとなっています。ちなみに待機児童問題が深刻な首都圏では事業所内保育所は増えています。保育園に中々入れないので、会社が人材の流出を防ぐために保育所を作っているということです。もちろん、一企業単独では運営コストをなかなか賄えませんので、複数の企業が共同運営する事例も見られます。母親また父親が専業主婦(専業主夫)であったり、あるいは祖父母が近くであれば、子供の面倒を見てもらえるかもしれませんが、身寄りのない共働き夫婦にとっては、保育所の充足度合いが重要な要素になってくると思います。それから、移住を考えるような夫婦には、移住候補先の保育所の充実が決定的に重要な考慮事項だと思います。

続きまして、子育て環境を図るうえでは教育環境も重要だと思います。教育環境を測るのは難しいですが、数字をとれるもので見つかったのはこれだけなのですが、一つの指標ということでご覧いただければと思い

ます。  
これは市立の小中学校の学力調査の指標です。小学校の成績は釧路が3市の中では国語も算数もトップです。ただ、中学では最下位になってしまうのです。あとは参考までに市立以外の小中学校、国立・私立の学校も並べてみました。ご覧いただくと函館にかなり選択肢があるということが分かるかと思います。  
私をご用意したスライド以上であります。3市の産業構造、人口面の動きについて分析しましたけれども、少しでもお役に立ったのであれば幸いです。  
最後に要約的なお話をさせていただきますと、最後に人口面の話をしましたが、今日は人の流れを見える化し、何が起きているのかなるべく直感のご理解できるように努めた次第です。人口減少全体、所与のものと考え方が多いかもしれません。社会動態につきましては人々の行動で変えうる部分もあります。ここでコンサル会社であればソリューションを提示するとこ

ろかもしれませんが、ここから先は行政・政治マターだと思います。財政にも当然限りがありますのでどのような人口減少対策が効果的なのかを考え、どれを採用するかは市民の選択の問題だと思います。  
私にできることは、あくまで各種統計を皆さまに分かりやすくご説明し、一定の分析をご披露するところまでです。さらに分析自体も甘いところが多々残っていると思いますので、これをきっかけに皆さま一人ひとり、あるいはロータリー全体として議論を深めて現状分析し、将来へ向かって何ができるかを考えるきっかけとしていただければ幸いです。  
本日はご清聴、どうもありがとうございました

### 本日のニコニコ献金

■得地 哉君 先週ですが道新釧路版で取り上げて頂きました。ありがとうございます。

今年度累計 397,000 円